



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

取付け上のお願

- 本製品の取付けは、必ずサッシの建付け調整後に行ってください。
- 固定ねじの締付けは手回しドライバーを使用し、電動工具を使用しないでください。
- サブロック本体の取付けは、取付け部に芯材が入っている場合を除き、付属のインプルナットを必ず使用してください。
- 電動ドリル使用時は、必要無い所まで貫通しないよう低速でご使用ください。

使用工具一覧

ドライバー(+)	電動ドリル	ドリル
		 φ3 φ8.5
カッター	仮止め用テープ	

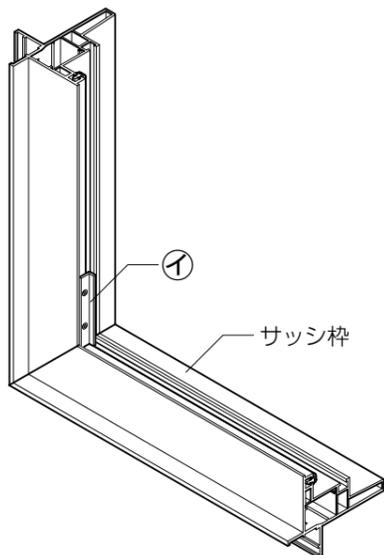
部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨	㊩
名称	サブロック受け	皿タッピングねじ φ4×20(D6)	サブロック本体	インプルナット
姿図				
使用個所	1個	2本	1個	2個
記号	㊰	㊱	㊲	
名称	バインド小ねじ M4×10	バインドテクスねじ φ4×19芯材有り用	サブロック本体 ねじカバー	
姿図				
使用個所	2本	2本	LR各1個	
使用個所	サブロック本体固定用	サブロック本体固定用		

取付け順序

1 サブロック受けの取付け



取付け詳細

※本図はマイスターIIワイド 縦すべり出し窓の図で説明しています。

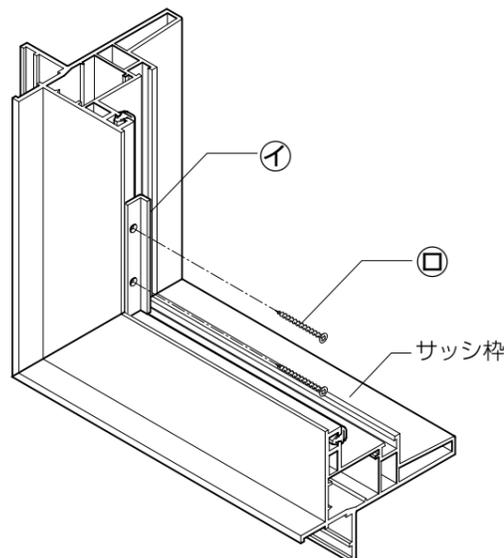
1 サブロック受けの取付け

①サッシ枠に下図寸法で下穴(φ3)をあけます。

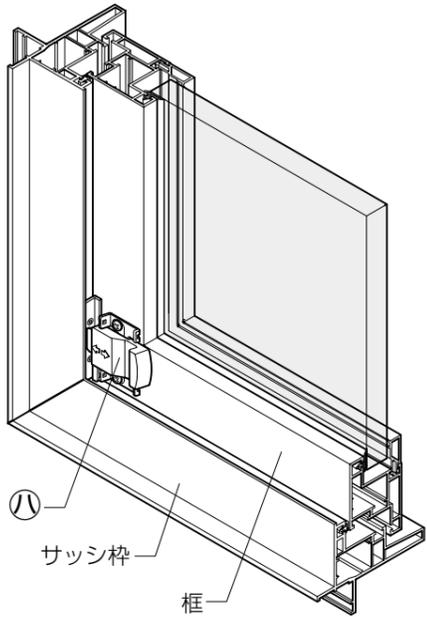
	見込み方向位置	縦方向位置
マイスターII ワイド (T,TF,TFT,S,SF,F/S)	取付け面10mmタイプ 	<p>※突当てて穴位置を現物であわせる</p>
	取付け面15mmタイプ 	
マイスターII 開き(C,CF,CFC) 出窓(DM,DB,DT) マイスタービュー		<p>※縦方向位置はサブロック受けをコーナ一部に突当てた位置で現物合わせしてください。</p>

②サブロック受けを取付けねじで固定します。

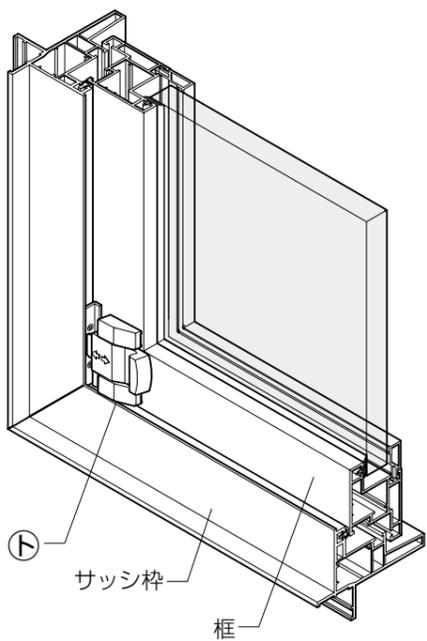
※取付けねじは、枠が変形しないように締付けしてください。



2 サブロック本体の取付け



3 サブロックねじカバーの取付け

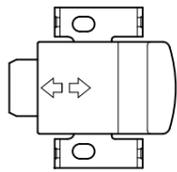


2 サブロック本体の取付け

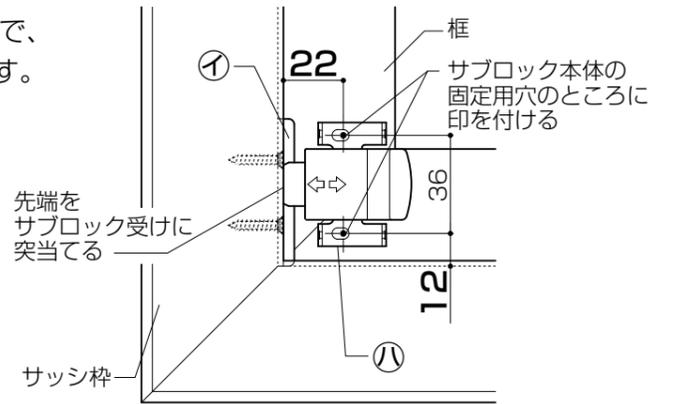
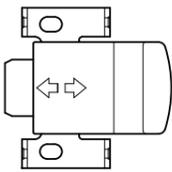
① サブロック本体を施錠状態(=納入時の状態: 下図参照)で、先端を受けに突当てて位置決めし、下穴用の印を付けます。

■ サブロック本体

● 施錠状態(=納入時の状態)



● 解錠状態



② 目印にドリルを使って下穴をあけます。初めにφ3の穴をあけます。

このとき、穴があきにくい場合は、中に芯材が入っています。

芯材が入っている場合には、手順④へ進んでください。

芯材が無い場合は、φ3の穴をφ8.5に大きくします。

表面のバリをカッターで落としておきます。

※バリが残っていると、部品のガタツキの原因になります。

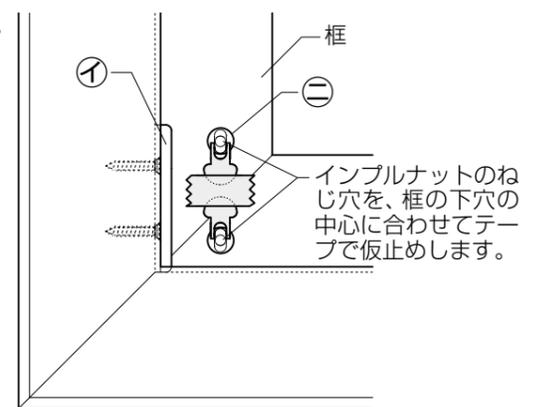
※穴は2箇所あけますが、どちらか一方に芯材が有り、

他方に芯材が無いといった場合もあります。

③ サブロック本体取付けねじ部に芯材が無い場合、サブロック

本体の保持強度確保のため、裏板の役目をするインプルナット

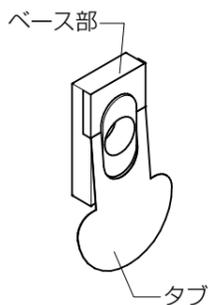
を必ず取付けしてください。



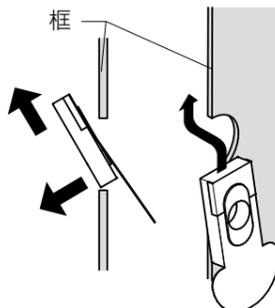
※インプルナットの折り曲げ向きは、上は下に向かって、下は上に向かって折ります。

■ インプルナットの取付け方法

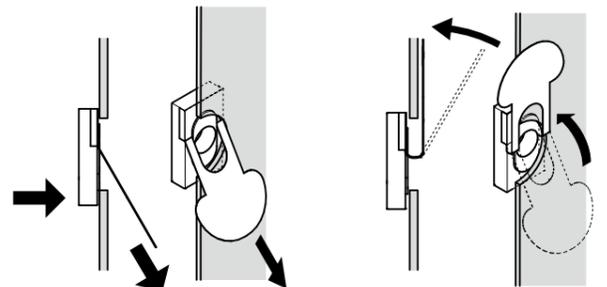
● インプルナット姿図



① タブを持ってベース部分を ② ベース部分が入ったら



もぐり込ませます。 ③ 引いたままの状態

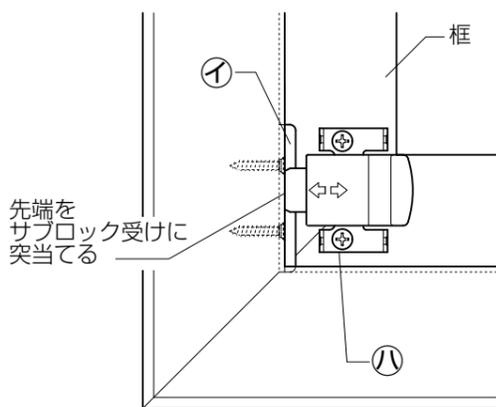


④ 右図を参考に穴位置を合わせてサブロック本体を取付けねじで固定します。

施錠状態のサブロック本体先端を受けに突当てて、まっすぐに固定してください。

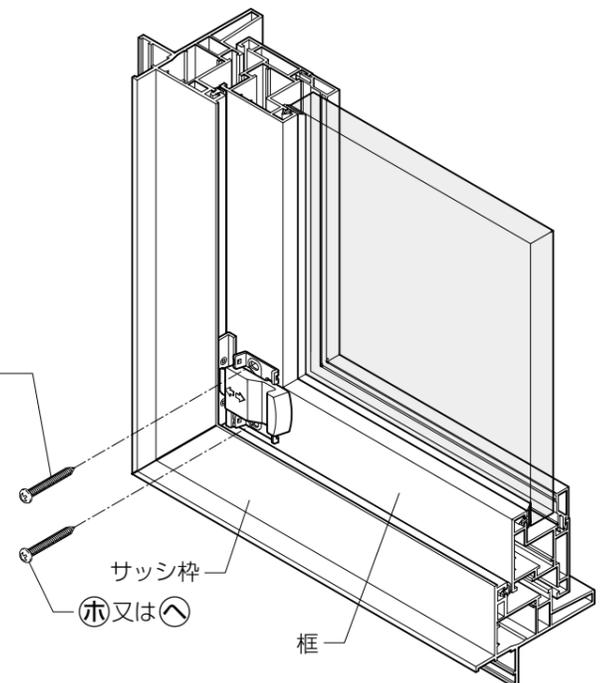
固定後、クリック感のある開閉操作ができることを確認してください。クリック感が無い場合、

取付けねじをゆるめて位置を調整し、クリック感のあるようにしてください。



「②」のφ3の下穴あけの工程で、芯材の有り・無しで取付けねじが変わります。

- 取付け穴に芯材がある場合
φ3の下穴に㊦バインドテクスφ4×19で固定
- 取付け穴に芯材がない場合
φ8.5の下穴にインプルナットを取付けた後、㊧バインド小ねじM4×10で固定



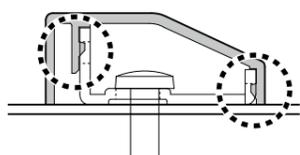
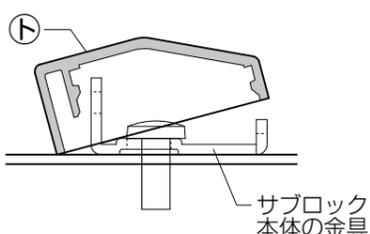
3 サブロックねじカバーの取付け

● ねじカバーをはめ込みます。

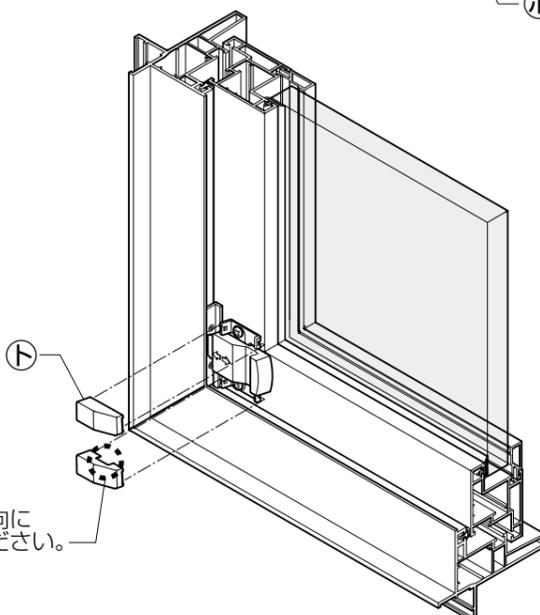
※ 下図を参考にはめ込む個所に注意してはめ込んでください。

※ ねじカバーには切欠き方向の違いにより取付けする位置が変

ります。右の図を参考に欠き方向を確認して取付けしてください。



ねじカバーの切欠き方向に注意してはめ込んでください。



■ 取付け完成図

● 図はロック閉状態

